


コンプライアンスが求める「良識」と「常識」の違いが分かる  
企業不祥事を防ぐための「コンプライアンス実践講座」

1. 狙い：虚偽表示、機密データ流出など組織の不祥事は止まることを知らず、コンプライアンスに対する関心はますます高まっています。コンプライアンス違反はいつ起こるか分かりませんので、日頃のコンプライアンス教育が重要となります。

本研修では日常生活や仕事のなかでおこりうる事例をもとに、コンプライアンスの本質を学び、ワークを通じて「コンプライアンスの基準」と「会社・社員の常識」のズレを洗い出し、コンプライアンスに対する基本的な意識と行動を徹底できるようにします。こ

2. 対象：社員、管理・監督者

研修メニューに戻る場合は、左上のブラウザーの戻る矢印をクリックしてください

3. カリキュラム：(研修日数：1日)

研修内容	研修の進め方
<p><b>オリエンテーション</b></p> <p><b>1. コンプライアンスとは何か</b>                      (1) 遵守すべき三つの規範 (2) 自分と会社を守るコンプライアンス                      (3) 社会的責任を果たすために</p> <p><b>2. 最近の話題と教訓</b>                      ☆B社の顧客情報漏洩事件 ☆D社の虚偽表示事件                      ☆M銀行の反社会的勢力への融資事件、など</p> <p><b>3. 私たちの一日とコンプライアンス</b>                      ～あなたのつい、うっかりが大事を招く～                      ＊出勤—就業—退勤・帰宅までの日常生活のなかから起こりうる、コンプライアンス違反を考えます。</p> <p>○マイカーで通勤途中で事故を起こした ○バス通勤の定期代を浮かせて、自転車通勤をした ○業務開始時間ぎりぎりセーフで会社に着い                      ○マニュアルは面倒なので読んでいない、5S活動は無視。○仲間の不安全行動を目にしたが注意をしない ○運転中に携帯電話にでた、伝票を運転台において車外に出た ○請け合い社員、派遣社員に雑用仕事を頼んだ。 ○昼休みは自由、布教活動や選挙活動をした。○昼休みに仕事をして、残業扱いの依頼をした ○同僚が車外へゴミ捨て、酒気帯び運転をした ○嫌な上司をヘルプラインで攻撃した</p>	<p>情報提供 自己診断 事例研究 グループ討議</p>